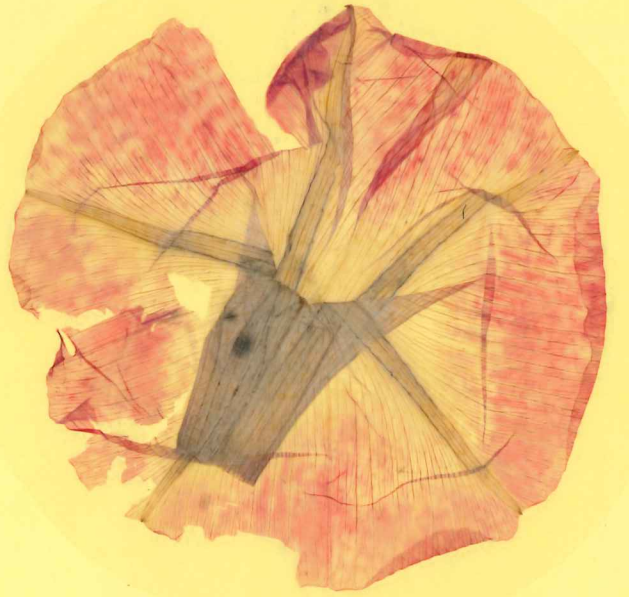




おじいさんへ



はるきよ





うたよ、とどけ、おじいさんへ
 ひろせ はるき
 なつやすみにあった、おんがくはっぴょう
 かい。『ぼくのうた』で、おんがく、こんごくに
 おじいさんにとどきますようにしげんきにう
 たった。100ばいせんとどいたとおもう。
 おじいさんは、ぼくがうまれたとき、すごく
 よろこんでくれた。あかちゃんるときはよく
 だっこをしてくれた。あるけるようになった
 らいっしょに、ぼくをいたり、こうえんでい
 ばいあそんでくれた。くりすますのときは、
 さんたくろしすになっ、てぶれせんとてくれた。
 あのおじいさんのえがおがわすれられない。
 いまもあのえがおおどみまもって、くれていると
 おもう。ぼくがうまれたとき、すごくよろこん
 でくれてありがとう。たくさんあそんでくれ
 てありがとう。いつもみまもってくれてあり
 がとう。それからもおじいさんに、ぼくのうた
 げえがとどきますように。たくさんありがとう
 とうをこめようたいます。

